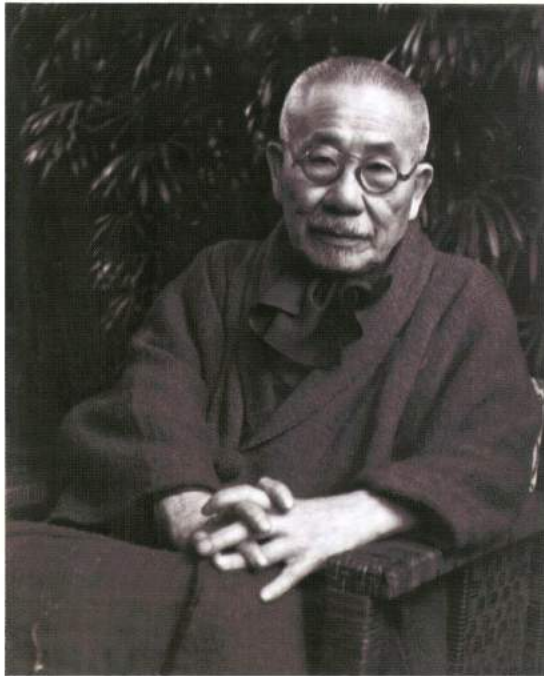


# 朝倉文夫の猫たちと朝倉彫塑館

あさくらのねこ  
～朝倉文夫の猫AKN総選挙@日比谷、中間発表もあるにゃん～



朝倉文夫 (1883-1964)

日時 2019年 6月7日(金)  
19時～21時 (18時30分開場)

会場 日比谷図書文化館  
地下1階 日比谷コンベンションホール (大ホール)

定員 200名 (事前申込順、定員に達し次第締切)

参加費 1,000円

明治・大正・昭和に渡って活躍し、彫刻家として初めて文化勲章を受章した朝倉文夫は、自他ともに認める大の猫好きでした。1964年の東京オリンピックの開催にあわせて「猫百態」展を企画し、たくさんの猫をモチーフとした作品を制作しましたが、1月に急性骨髄性白血病を発症、4月に他界してしまいます。そのため10月のオリンピックを見ることは叶わず、「猫百態」展は実現しませんでした。しかし、しなやかな動きや生き生きとした仕草をとらえた猫の作品群は、今も人々を魅了し続けています。

今回は朝倉文夫が猫と暮らした谷中のアトリエ兼住居であった朝倉彫塑館 (のちに国の名勝に指定) をご紹介しながら、朝倉文夫の猫作品についてお話させていただきます。

講師 **とほり たいこ 戸張 泰子** 台東区立朝倉彫塑館 主任研究員

博士(美術)。専門は近代日本美術史。2009年より朝倉彫塑館に勤務し、保存修復工事、リニューアルオープンに携わる。「我家吾家物譚 ポクノ家ガデキルマデ」(2015)、「朝倉文夫 撰 響子 三人展」(2016)、「猫百態—朝倉彫塑館の猫たち—」(2017)、「彫刻家の眼—コレクションにみる朝倉流哲学—」(2018)などを企画し、朝倉彫塑館や朝倉文夫の魅力を発信している。近年の論考に「呉昌碩・孫松・朝倉文夫—芸術家同士の交流」(2018)、「盆栽と自然と朝倉文夫」(2019)などがある。女子美術大学大学院非常勤講師、京都造形芸術大学非常勤講師。

朝倉の猫が日比谷に  
やってきた、ニャーニャーニャー

どのポーズがお好き?  
朝倉文夫の猫AKN  
総選挙@日比谷  
2019年4月26日(金)～6月23日(日)

3階までお散歩して、投票してにゃん!

特別展「アートになった猫たち」の開催に合わせて、朝倉文夫の猫の人気投票を行います。6月7日の日比谷カレッジではその中間発表も予定しています。3階までお散歩して朝倉文夫の猫を見つけ、お気に入りの猫に投票してにゃん!(展示は一体のみ)

開催期間 2019年4月26日(金) - 6月23日(日)  
休館日 2019年5月20日(月)、6月17日(月)、詳しくはHPをご覧ください。



都営地下鉄●三田線「内幸町駅」  
A7出口/徒歩3分  
東京メトロ●丸ノ内線●日比谷線「霞ヶ関駅」  
B2出口/徒歩3分  
東京メトロ●千代田線「霞ヶ関駅」  
C4出口/徒歩3分  
JR「新橋駅」  
日比谷口(SL広場)/徒歩10分

主催 千代田区立日比谷図書文化館  
千代田区日比谷公園1-4

<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>

お申込み

- ①ホームページの申込みフォーム
  - ②お電話(03-3502-3340)
  - ③ご来館(1階受付)
- いずれかにて参加希望の講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をお知らせください。

小学生以下のお子様に参加される場合、保護者の同伴が必要です。(同伴者の方にも参加費が必要です。)

協力 台東区立朝倉彫塑館